

アンドレ・ブラジリエ

- 1929年 10月29日、ソミュール市(アンジュー地方)で画家の両親のもとに生まれる
メーニエール＝ヴィコント村にある一家の広大な邸宅マッセ館で幼年時代を過ごし、
コレージュ・サン＝ルイとコレージュ・サン＝テランベールにおいて学校教育を受ける
- 1949年 パリのエコール・デ・ボーザールに入学、モーリス・ブリアンションの教室で学ぶ
- 1952年 フローレンス・ブリュメンタル賞を受ける
- 1953年 ローマ賞絵画部門の一等賞を受ける
- 1958年 アトリエ・ムルローにおいて最初のリトグラフを制作
- 1960年 パリのヴェイユ画廊において展覧会、ヴィルヌーヴ＝シュール＝ロ賞を受ける
- 1962年 ニューヨークのデヴィット・B・フィンドレー画廊において展覧会
- 1969年 ギャラリー・ド・パリにて3回の展覧会の第1回目開催(1972年、1976年)
東京で初の個展
- 1970年 ガストン・ルルー『黄色い部屋の秘密』(ソーレ社刊)の挿絵を描く
- 1971年 カラカスのガレリア・デ・アルテほかニューヨークにて展覧会
- 1972年 コレットの中編小説数作(オネットム・クラブ刊)の挿絵を描く
- 1974年 パリのヴィジョン・ヌーヴェル画廊においてリトグラフとタペストリーの展覧会
- 1975年 サロン・ド・モンジュール賞を受賞
ナントのギャラリー・ミニオン＝マサール、ジュネーブのギャラリー・デ・ショードロニエ、
そしてヘルシンキで展覧会を開催する
- 1976年 イヴ・ファンタスがブラジリエ論を出す
- 1977年 ドイツで初めての展覧会がローランド・ドシュカ教授によりチュービンゲンで開かれる
- 1979年 パリのマティニオン画廊において展覧会
初めて陶器の展覧会をパリのエチエンヌ・サッシ画廊において開く
- 1980年 ロワール地方のシュノンソー城において、初の回顧展(1950-80)が開催される
- 1981年 アラン・フルニエ『モーヌの大將』(ソーレ社刊)の挿絵を描く
- 1985年 ニューヨークのハマーギャラリーにて個展開催
レイナルド・ハーン作「シブレット」(オペラ)の衣装と舞台装飾を担当する
- 1987年 マルセル・プーレスト『スワンの恋』を題材とした作品を印刷局用に制作する
- 1988年 10月パリのホプキンス＝トーマス画廊とエチエンヌ・サッシ画廊において同時開催
- 1989年 アンジェにおいて回顧展が開催され、金の木馬賞(アンジェ市名誉勲章)を授与される
アカデミー・フランセーズ会員ミッシェル・デオンの序文を付したヤン・ピションの著作
「アンドレ・ブラジリエとその変貌」がセギエ社から出版される
- 1990年 グレート・イヴェント社より「我が国の自然」が出版される。
- 1991年 ドゥルオ＝モンテーニュよりリトグラフ10点を収めたアルバム「ハーモニー」が出版
- 1992年 ディディエ・ジュモー＆パートナーズ主催「ブラジリエのブラジリエ展」が東京ほかで開催
リトグラフのカタログ・レゾネがカリトス社から出版される
- 1994年 マントン、カルノレス宮近代美術館にて個展
- 1996年 ノルマンディ地方、ヴァスコイユ城にて個展
- 2004年 ドイツ、コンスタンツ湖畔、マイノー城にて個展
- 2005年 ロシア、サンクトペテルブルク、エルミタージュ美術館にて回顧展
- 2008年 5月、ポンパドール郡のサン・ブレース教会の壁画を国、自治体の要請により完成させる
- 2010年 6～11月、シュノンソー城にて代表作40点による個展(城主夫人は長女)